

自転車利用実態定点調査報告

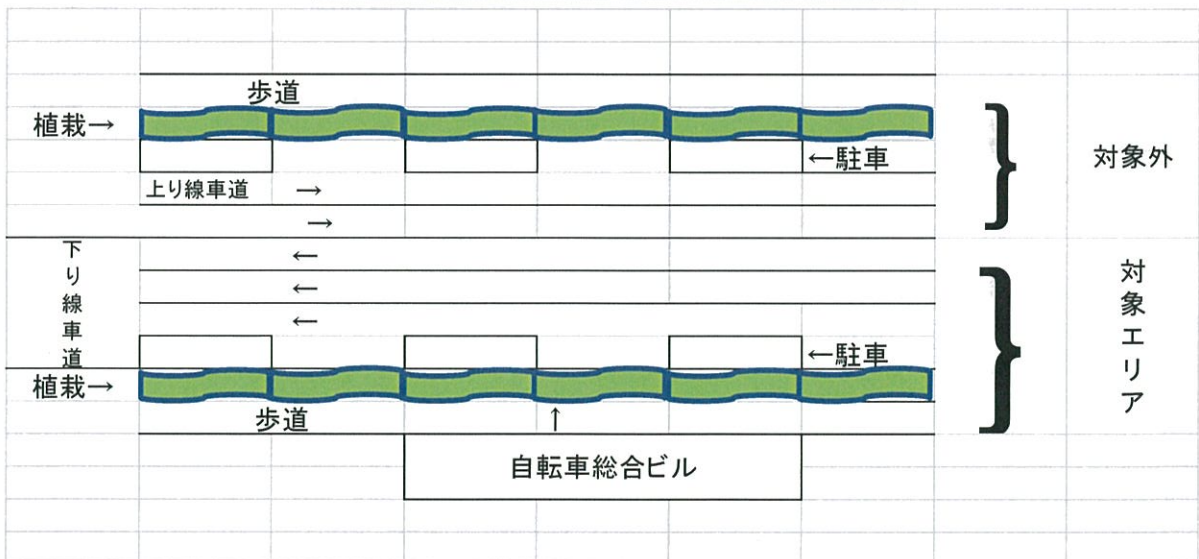
平成26年12月

(一財)日本自転車普及協会

調査目的 自転車は車道左側走行が原則であるが、実際の自転車の走行状況の実態を調査し、その状況の問題点を探り一般に公開することで、望ましい走行空間の再考資料としていただくことを目的に行う。

調査日時 平成26年11月4日～28日
 [午前]9:00～10:00、[午後]13:30～14:30

- 調査場所** ・ 自転車総合ビル前（目黒駅方面に50m程緩い下り坂）
- 概要** ・ 調査対象(車道線:目黒通り下り3車線[内側1車線駐車帯])
 (歩道:幅員5m・植栽1.5m～2mのため、実質通行幅3m～3.5m)
- ・ 調査対象外(車道線:目黒通り上り2車線[内側1車線駐車帯]及び上り歩道)



調査事項 走行空間調査(車道、歩道)と危険走行調査

自転車利用実態定点調査票

No.	走行空間				車種		雨天		危険運転行為								
	歩道	左側車道	中央車道	右側車道	普通	電動	無	有	肩に荷物	ハンドルに荷物	立ち漕ぎ	片手運転	携帯電話使用	過重積載	子乗せ後部席に荷物	歩道上でのスピードの出しすぎ	その他
1																	
2																	
3																	
4																	
5																	
6																	
7																	
8																	
9																	
10																	
11																	
12																	
13																	
14																	
15																	
16																	
17																	
18																	
19																	
20																	
21																	
22																	
23																	
24																	
25																	

調査日時： 平成 26 年 月 日 ()

天気： ()

調査時間： ()

<調査票>

[コメント]

◎走行空間においては、左側車道走行率は、7～33%と多岐にわたるが、平均すると 19% 程度である。

依然、歩道を通行する自転車が多く、今回も、全体の 8 割程度を占めている。同一地点 (個別データ)においても、午前と午後で異なったデータとなっている。

◎危険運転行為(違反行為を含む)は、肩に荷物(50 件)・ハンドルに荷物(50 件)・立ち漕ぎ (50 件)・片手運転(47 件/内 2 件は、携帯電話を使用しながらの運転)・過重積載(17 件)・子乗せ後部席に荷物(*1)(11 件)・歩道上でのスピードの出しすぎ(8 件)等の順となっている。

*1 子乗せ後部席に荷物を掛ける事は、もし、気が付かない間に落下して、歩行者や自転車等に迷惑(通行障害・事故起因等)を及ぼしかねないので、基本、止めた方が望ましい。

【総合】

今回は、平成 26 年度第 5 回目の調査となり、7～11 月分の 5 ヶ月期間で様々な点で比較してみた。

- ・利用者別 今回は、午前が午後の利用者を若干上回った。

- ・左側車道走行率 今回(18.6%)は、5ヵ月間中では最下位で、8月(28.2%)・7月(25.3%)・9月(22.8%)・10月(21.2%)・11月の順である。
 さらに、午前でも、今回(20.2%)は、同様に、最下位で、8月(29.3%)・7月(28.7%)・9月(26.3%)・10月(22.7%)・11月の順となっている。
 また、午後も、同様に、最下位で、今回(16.9%)が2位で8月(26.4%)・10月(20.1%)・7月(19.9%)・9月(19.8%)・11月の順となっている。

- ・子乗せ自転車 今回(25%)は、5ヵ月間中では1位で、11月・9月(24.4%)・10月(23.9%)・7月(15.6%)・8月(15.4%)の順

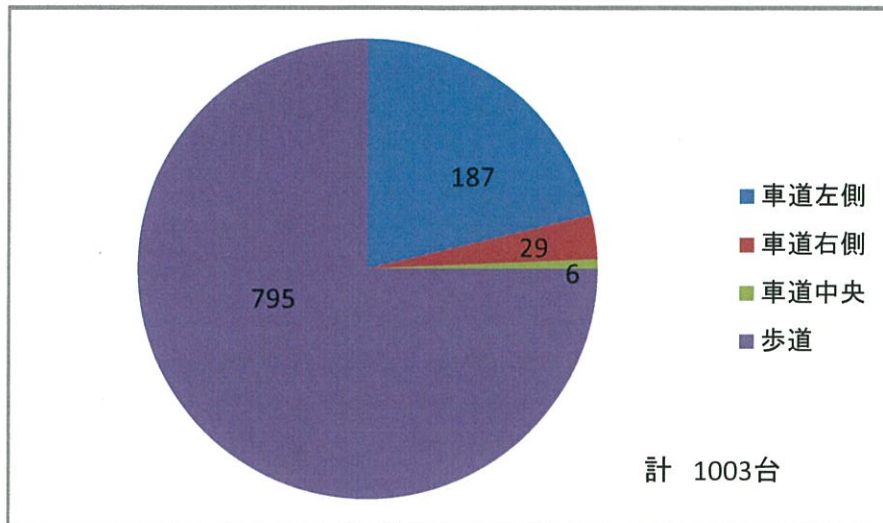
- ・電動自転車 今回(40.1%)は、5ヵ月間中では1位で、11月・9月(38.5%)・10月(37.3%)・8月(29.2%)・7月(27.8%)の順

- ・危険運転行為 上位3件別では、今回は、[肩に荷物・ハンドルに荷物・立ち漕ぎ]の順であり、5ヵ月間の共通項目は、該当なし。
(違反行為を含む) 一方、下位3件別では、今回は、[歩道上でのスピードの出しすぎ・脇見運転・斜め横断]の順であり、5ヵ月間の共通項目は、こちらも該当なしとなっている。
 なお、今回は、肩に荷物・ハンドルに荷物(基本的に一般車)だけで、全体の4割強近くを占める形となった。
 (危険防止の観点から籠の装備や荷台に装着等の必要性がある)

- ・その他の危険運転行為 今回は、フレームに足乗せ(歩道上)が発生した。

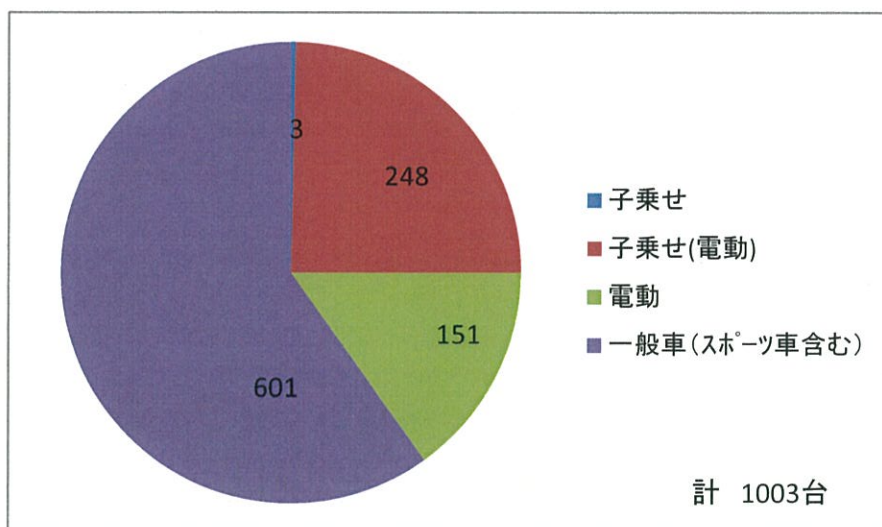
雨天時での調査は、今回も3日間(11/20・25・26)であり、合羽着用者は、傘さし運転者の1.2倍であった。

なお、11月25日の午後及び26日は、大雨や強風のため、利用者が極端に少なかった。



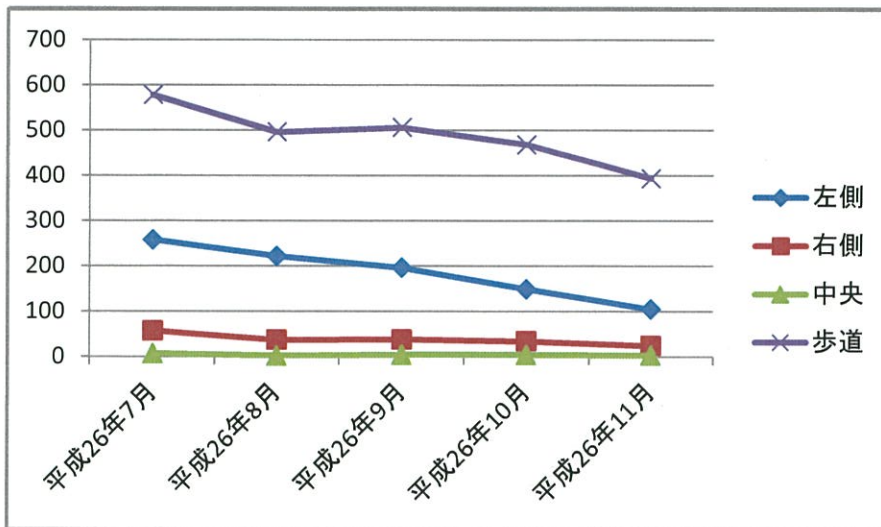
走行空間

調査期間 11/4~28

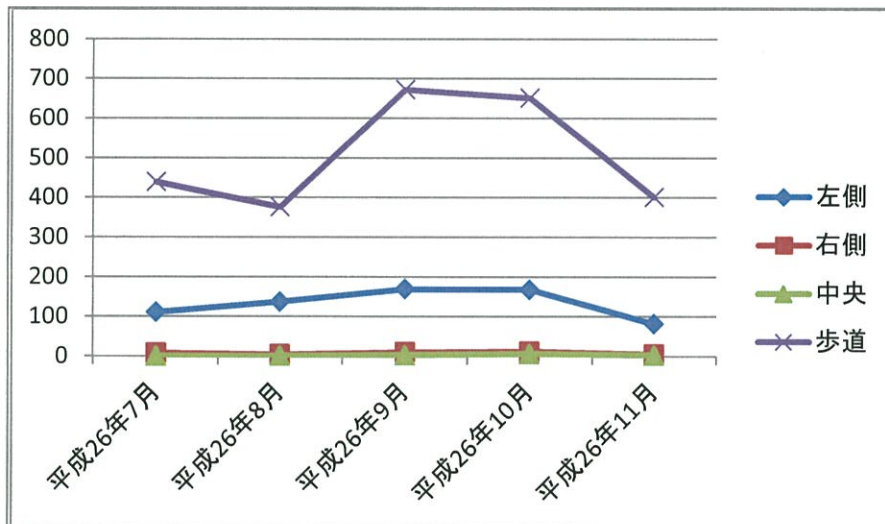


車種

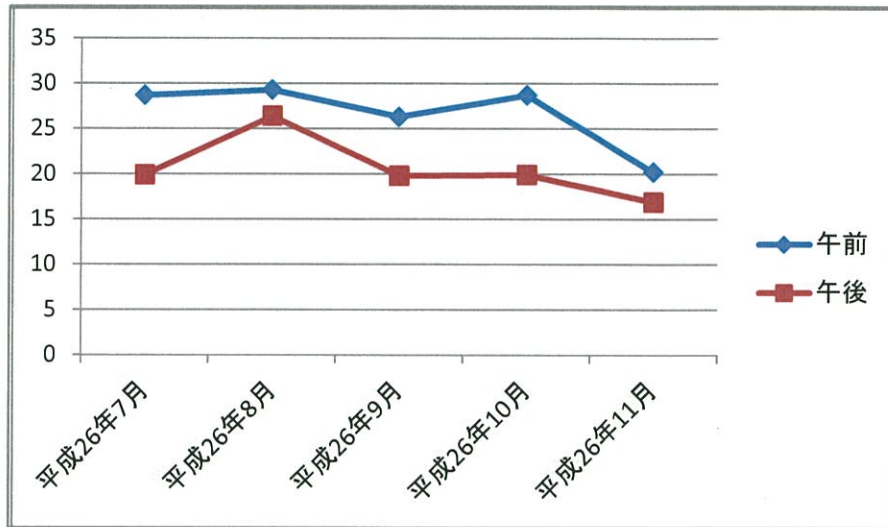
調査期間 11/4~28



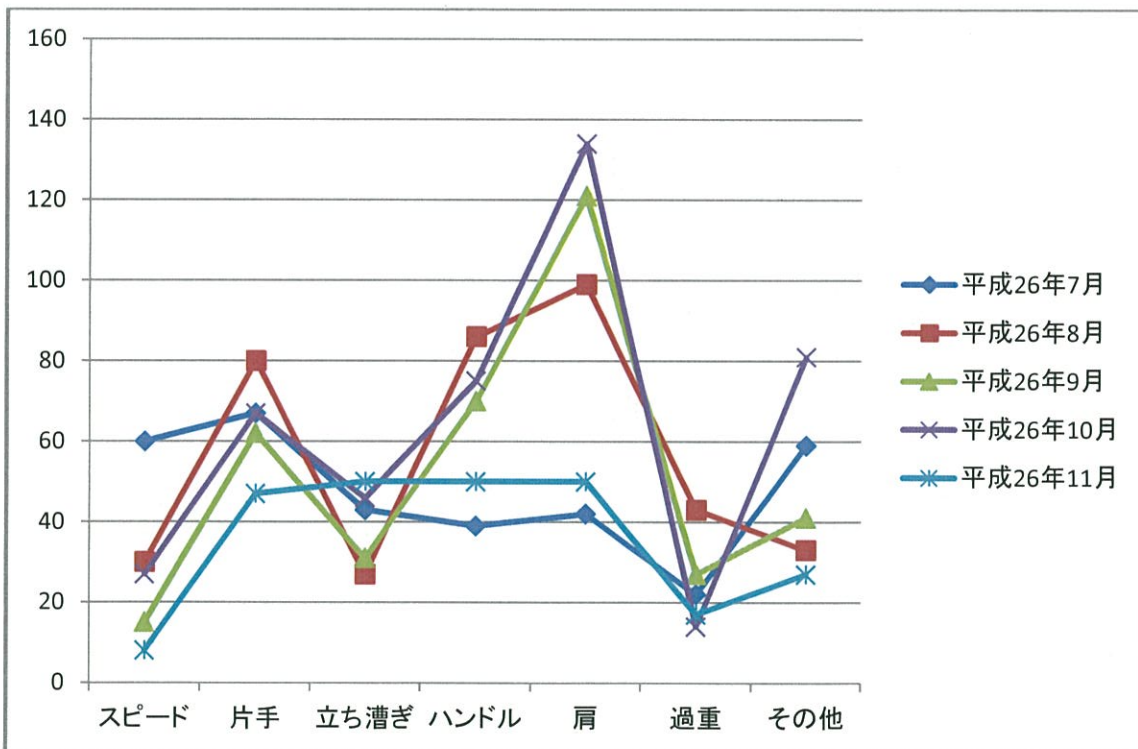
走行空間 午前 (台数)



走行空間 午後 (台数)



車道左側走行率 (%)



危険運転行為 (件数)